

## 学科近況

今年は4年生が誕生し、入学した1年生を含め、2年生、3年生、4年生および学科の教員など人員が増え、高専らしくなってきました。4年生のメインイベントとなるインターンシップ、研修旅行など学生も学外活動を行う時期が迫ってきて準備を進めています。6月末までにはインターンシップ先を内定する予定です。県外に出かける学生もおり、全教員でサポートを行います。また進学(大学への3年次編入学など)を希望する学生も多く、学生が希望する進学先の大学資料および過去問(入学試験問題)を取り寄せ中です。

年度末には研修旅行があります。全学科ともに目的地は東京方面で、メディア情報工学科では2、3の企業や研究所などを訪問する予定です。学生にとっていい体験となるような企業を選定中です。全員が事故もなくいい研修を行うことができるように準備を進めます。

保護者の皆様には、随時学科の状況などをご報告致します。学科懇談会などで保護者の方々と教員の相互理解を深め、メディア情報工学科の学生が自立できるようによりよい教育を行っていきたいと考えております。

(平成19年度学科長:水野正志)



校舎から久志岳を望む

## 新任教員紹介

メディア情報工学科では4月に新任教員3名を迎え、10名の体制で学生の指導に当たります。

### 姉崎 隆(教授)

新しく着任しました姉崎です。4月より、デジタル回路・メディア情報工学実験Ⅲ・高専セミナー他を担当しています。また、来年度にはデジタルシステム設計・ロボット制御も担当することになります。よろしくお願いします。

3月まで、松下電器において20年以上、産業用ロボットや家庭用ロボットの研究開発に携わってきました。そのような経緯で、創造研究では RoboCup をテーマとして、ロボットのサッカーチーム構築に取り組んでいます。

企業での家庭用ロボット開発は10年早かったというのが正直な気持ちです。でも、これからの社会を担う高専生の皆さんには、やりがいのあるテーマです。また、究極の組み込みシステムとして、ロボットはメディア情報工学科の格好の取り組み目標と感じています。一緒にロボットを勉強しませんか。

### タンスリヤボン スリヨン(講師)

私は、Tansuriyavong Suriyon(タンスリヤボン スリヨン)と申します。タイ出身で、1988年10月3日に来日以来、人生の半分を日本で過ごしています。タイ語を忘れてはいませんが、たまにタイの単語が出てこない場面があります。略歴として、木更津高専→東京農工大学→長岡技術科学大学、そして、平成19年に沖縄高専メディア情報工学科の講師として就任。いつでも笑顔で頑張りたいと思います。私の授業では、以下の内容を取り入れています。

#### (1) 英語による講義

私が独自で考案した方法で、VOA (Voice Of America) を利用した英語教材を作成して、毎回授業の冒頭10分間で紹介ディスカッションします。学生が英語を慣れさせるためです。(学生全員がTOIECの試験で400点以上取得できるレベルにしたい)。このような教育の方法で、国際的にも活躍

できる実践技術者の育成に貢献していきたいと思ひます。

## (2) 情報処理技術者試験の対策

目標は、IPA(情報処理推進機構)の(AD、FE、SW、SV ADなど)の何れかの資格試験を合格させることにあります。IPA合格者に対して、奨学金を給付したり、入学金免除や授業料減免などの優遇措置をする学校・大学があります。合格者に対して入試優遇制度を実施している学校や大学が258校、単位認定制度を実施している学校・大学が77校あります(2007年5月IPA情報処理技術者試験センター調べ)。沖縄高専の学生がこの様な情報処理技術者の資格を取得できるように貢献したいと思ひます。これによって、近年の高専生の進路の多様性に対応でき、就職にも進学にも有利になります。

私は、以上のように沖縄高専で、教育や研究を通じて国際的にも通用する技術者を育成し、沖縄県内外または、海外諸国のIT産業界の発展に、微力ではありますが、寄与したいと思ひています。今後ともどうぞ宜しくお願ひ致します。

**3・4年の担当科目:** 情報理論(4年必修)、IT応用(3年選択)。

## バイティガ ザカリ(助教)

**経歴:** 中央アフリカ共和国国立バンギ大学院博士前期課程修了(平成8年)、日本国文部科学省の国費留学生として来日し九州大学留学生センターにて日本語習得(平成10年)、大分大学電気電子研究生(平成11年)、同大学院博士後期課程修了(平成18年)、株式会社エム・イーディ・エンジニアリングにて生産管理および3次元画像開発に従事(平成17年)、沖縄高等専門学校メディア情報工学科助教(平成19年)。

**研究分野:** 電気自動車自律走行(工学制御)、画像処理パターン認識(色)。現在、サッカーロボットに関する研究に取り組んでいます。

**所属学会:** 電気学会、電子情報通信学会、IET(英国)、IEEE Computer Society(米国)

**3・4年の担当科目:** 離散数学(3年必修)、応用線形代数(3年必修)



## 各学年の話題(4年生)

### 学級近況

**インターンシップについて** 第4学年の夏休み(8月20日～9月30日)に1週間から1ヶ月程度、県内/外の情報系企業を中心に企業実習(インターンシップ)が予定されています。現在、全員の実習先がほぼ決定し、実習の詳細を実習先に確認しているところです。8月の「マナー講座」や「進路ガイダンス」の事前学習を経て実習に出かけて行きますが、学校生活では体験できない多くのことを学んできてほしいと願っています。また、将来への進路を選択する時期が迫っていますが、まだまだ迷っている学生が多ひいます。インターンシップを通してより具体的に職業イメージを描けるようになれば、進路の方向も定まってくるのではないかと期待しています。実習後には、実習内容や学んだことを全員が発表する機会があります。この報告会には3年生も出席する予定ですので、次年度の参考になると思ひます。



**ひとり暮らしの食生活** 4年メディア組の約半数が寮外生となりました。学校近くのアパートでひとり暮らしをしている学生たちの食事の状況を心配されているご家庭も多いと思ひます。ひとり暮らしをしている学生の方々は食事のバランスに気を配ったり、自炊をしたりと、食に関心を持っているようです。「料理が楽しい」「献立を考えることを含めて、食事の準備や片付けがいかにか大変かがわかった。親に感謝している」という声も聞かれています。その一方、「手軽だから」「お金を節約したいから」という理由で、お菓子や小さなオニギリ一個で昼食や夕食を済ませてしまう学生もいます。健康を維持し、楽しい学校生活を送るためにも、3食キッチンと摂ってもらいたいと思ひます。また、個人面談で「簡単に作れて、簡単に後片付けができて、おいしくて、安い食材でできる料理を教えてください」、担任の専門分野外?の質問がありました。本校の図書館にはひとり暮らし向けのレシピが載った料理本や、初めて料理をする人向けの本(わずかですが)がありますし、インターネット上には多くの自称ひとり暮らしの達人が情報を発信していますので、参考になります。(と、答えながら、担任が得意の超簡単料理を伝授しています)

(4年学科担任: 太田 佐栄子)

## 各学年の話題(3年生)

### 学級近況

第3学年は学科別の学級がはじまる学年です。これから卒業まで、基本的に同じ仲間と学校生活を送ることになります。今年度はクラスの雰囲気づくりを目標に学級運営を行ないたいと考えています。学生の考え方もライフスタイルも多様な時代です。何か特別な目標をひとつ立てて頑張るのではなく、多様な個性を持つクラスの仲間と一緒に居ることで学生が安心できるような、楽しく温かいクラスを目指したいと思います。全寮制でなくなることも3年からの特徴です。寮から出た学生にとっては、新しい環境に慣れ、自分のペースをつかむことが、勉強の前提として重要でしょう。遅刻・欠席の多い学生にはケアも含めたきめ細かい指導が必要だと考えています。進路指導については、4年から本格的になる就職・進学準備に備えて、今年度中に自分の進路について具体的なイメージを持つことを目標にしています。実際には色々な制約があって思い通りにはいかないものですが、今はまだ自分の夢や希望を最大限膨らませてよい時期だと考えています。ご家庭でも、焦らずに学生の心の声に耳を傾けてあげていただきたいと思います。今年度が終わる頃には、卒業後にやりたいことが具体的に見えているように、できるだけ後押ししていきたいと考えています。

(3年学科担任:西村篤)

### 写真特集(3年メディア)

5月16日のLHRで行なったスポーツレクリエーションの様子です。3年機械クラスと合同で卓球とバレーボールをして楽しみました。



こちらは卓球を楽しんでいます



基本的にダブルスでゲームをします



結構真剣だったりする



もう半分はバレーボール



やっぱりそれなりに真剣だったりする



最後はみんなで整理整頓します



## その他学科内の話題

### 資格試験

平成19年4月15日に実施された情報処理技術者試験において、本学科から初級システムアドミニストレータ試験に13名、基本情報技術者試験に3名が合格しました。情報処理技術者試験は経済産業省が認定している国家試験です。学生はもちろん多くの社会人も受験する資格試験で、情報処理産業ではいわば必須とも言える資格です。今年春に実施された試験では県内合格者が初級システムアドミニストレータ試験は109名(合格率19.5%)、基本情報技術者試験は88名(合格率22.8%)と難関の資格試験ですが、本学科の合格率はそれぞれ46.4%、75%と極めて高い合格率を修めることができました。メディア情報工学科は今後も学生の資格試験取得に対し積極的に支援していきます。

**初級システムアドミニストレータ試験合格者:** 兼城駿一郎(2年)、上原悠輔(2年)、津波古渉太(2年)、白崎史子(2年) 栗秋太一(3年)、八幡美希(3年)、森岡駿(3年)、大城成子(3年)、仲宗根結花(3年)、山城巨樹(4年)、鈴木裕太(4年)、真境名佑介(4年)、村吉翔大(4年)

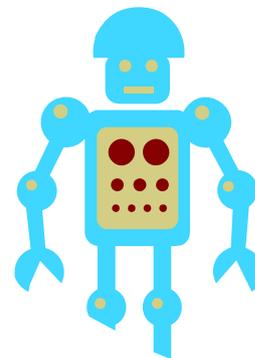
**基本情報技術者試験合格者:** 上原龍生(3年)、金城尚志(3年)、嘉手苺弘昂(4年)

(正木忠勝)

## ロボコン

今年度のロボコン(全国高等専門学校ロボットコンテスト)には、メディア情報工学科から、上原龍生(3年)、栗秋太一(3年)、白崎史子(2年)、上原佑介(1年)、大城よしほ(1年)、久米剛弘(1年)、の6名の学生が参加します。ロボコンは、各メンバーを機構班、回路班、プログラム班の3つに分けています。機構班は、ロボットの具体的な動作や加工などを行います。回路班は、モータを駆動させるための回路(モータドライバ)の作成やマイコンとモータドライバを接続する回路の作成を行います。プログラム班は、マイコンの制御プログラムを制作します。2年生と3年生はプログラム班です。1年生はまだどの作業班に所属するかが決まっていっていません。

(ロボコン担当:奥田篤士)



## プロコン

本校は昨年、全国高等学校プログラミングコンテスト(プロコン)と全国高等学校パソコンコンクール(パソコン甲子園)に初チャレンジしプロコンは審査委員特別賞、パソコン甲子園は予選通過、全国大会出場を果たしました。今年も意欲的な学生が集まり。昨年より好成績を目指して活動しています。本学科からプロコンには清末尊(1年)、知念佑奈(2年)、山本宗章(3年)、金城尚志(3年)、砂川茜(4年)、松田遼子(4年)の6名の学生が参加し、パソコン甲子園には金城尚志(3年)、栗秋太一(3年)、上原悠輔(2年)、津波古渉太(2年)、渡嘉敷拓馬(2年)、國場幸紘(2年)、大城潤(2年)、兼城駿一郎(2年)、兼城春香(2年)、久貝美奈子(2年)、玉代勢幸大(2年)の11名の学生が挑戦します。

(プロコン担当:正木忠勝)

## 編集後記

「メディア情報工学科だより」は、3学年以上の学生をお持ちの家庭を対象に、試験の成績通知に合わせて発行している学科通信です。学科別の学級がスタートした平成18年度に発刊し、その年は2号を発行しました。2年目となる平成19年度は、年間4号を発行して、学校の雰囲気をご家庭に届けることができると考えています。学科通信に関するご意見ご要望などがありましたら、編集担当者までお寄せ下さい。

編集担当者連絡先:

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905

沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科 西村篤

電話&ファックス: 0980-55-4177

電子メール: nisimura@okinawa-ct.ac.jp